

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築生産特論	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	4単位		授業形態	講義			
教科書/教材	2級建築士講座テキスト・2級建築士問題集 学科Ⅳ 建築施工 総合資格学院						
担当教員情報							
担当教員	根本毅			実務経験の有無・職種		有・建築設計	
学習目的							
建築計画特論、建築環境・設備特論、建築法規特論、建築構造特論、建築施工特論、建築士受験対策の6教科は、建築設計科（二年制）を卒業して、建築学科3年次に編入した学生を対象に行われる二級建築士の学科試験の対策授業である。建築環境・設備特論では、学科Ⅰ分野（建築計画）のうち環境工学、建築設備の知識を習得し、二級建築士試験合格を学習目的とする。さらに、二次試験（製図試験）に必要な関連知識の修得を到達目標とする							
到達目標							
二級建築士の学科試験の学科Ⅳ分野（建築施工）において、各科目の基準点である13点以上を取ること。及び、学科試験Ⅰ分野から学科試験Ⅳ分野の合計点において、合格基準点の60点以上をとることを到達目標とする。。							
教育方法等							
授業概要	教科書及び問題集を活用し「予習」「講義」「復習」の段階を繰り返し行い2級建築士試験に向けて記憶の定着を図り進めていく。授業毎に確認テストを行い授業の理解度を確認し、解答の導き方においてはグループ学習を取り入れる。						
注意点	「予習」を前提に授業を行うため各回の範囲のテキストを一読し、問題集を必ず解いて提出すること。自宅学習で理解不足の部分を講義で確認し理解して授業を終えること。講義後はテキストや問題集の見直しを行い、理解度を確認し知識の定着を図ること。授業は全て出席を前提とし、本試験に向けて学習計画を具体的に立てること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	二級建築士学科試験の結果を評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	契約・施工計画			工事請負契約、施工計画について理解する			
2回	管理計画・仮設工事			材料管理、申請届出、仮設工事について理解する			
3回	地盤・土工事・基礎			地盤調査、土工事、杭、基礎について理解する			
4回	鉄筋工事・型枠工事			材料、加工・組立、かぶり厚さ、定着・継手について理解する			
5回	コンクリート工事			種類、調合、運搬、打込み、養生、品質管理について理解する			
6回	鉄骨工事			溶接接合、錆止め塗装、高力ボルト接合、耐火被覆について理解する			
7回	コンクリートブロック・ALCパネル等			材料、補強コンクリートブロック造、コンクリートブロック帳壁、塀について理解する			
8回	木工事・防水工事			材料、在来軸組工法、接合部、アスファルト防水、シート防水、塗膜防水について理解する			
9回	左官工事・タイル石工事・塗装工事			材料、セメントモルタル塗り、タイル工事、石工事、塗装工事について理解する			
10回	建具ガラス工事・内装工事			建具工事、ガラス工事、鋼製下地、壁・天井、断熱工事について理解する			
11回	改修工事			外壁改修、防水改修、建具改修、内装改修、耐震改修、環境配慮改修について理解する			
12回	設備工事・施工機械・器具			給排水設備、電気設備、火災報知設備、住宅用防災警報器、ガス設備、施工機器について理解する			
13回	測量・積算・見積			平板測量、水準測量、工事費の構成、数量積算について理解する			
14回	重要ポイント復習			学習範囲における重要ポイントを確認し、理解をする			
15回	総まとめ			総まとめテストにおいて合格点を取ることができる			